表1　AFに起因する血栓塞栓症に適応を持つNOAC一覧（編集部まとめ）

一般名	ダビガトラン	リバーロキサバン	アピキサバン	エドキサバン
商品名	プラザキサ	イグザレルト	エリキュース	リクシアナ
AFを適応症とした発売時期	2011年3月	2012年4月	2013年2月	2014年9月
作用機序	直接トロンビン阻害	第Xa因子阻害	第Xa因子阻害	第Xa因子阻害
標準的な1日投与量（通常量）	300mg、分2	15mg、分1	10mg、分2	60mg、分1
減量時の1日投与量（低用量）	220mg、分2	10mg、分1	5mg、分2	30mg、分1
減量に関する規定（いずれかの項目が該当した場合、低用量を用いる。ダビガトランでは低用量を考慮する）	• CCr 30～50mL/分 • P糖蛋白阻害薬（経口薬）併用 • 70歳以上 • 消化管出血の既往	• CCr 15～49mL/分	• 80歳以上 • 体重60kg以下 • 血清クレアチニン1.5mg/dL以上 ※2項目以上該当の場合	• 体重60kg以下 • CCr 15～50mL/分 • キニジン、ベラパミル、エリスロマイシン、シクロスポリン併用
第3相試験名	RE-LY	ROCKET-AF	ARISTOTLE	ENGAGE AF-TIMI 48
対象$CHADS_2$スコア	1以上	2以上	1以上	2以上
平均$CHADS_2$スコア	2.1	3.5	2.1	2.8
脳卒中/全身性塞栓症（対ワルファリン群）	300mg：減少 220mg：同等	同等	減少	60mg：同等 30mg：同等
大出血（対ワルファリン群）	300mg：同等 220mg：減少	同等	減少	60mg：減少 30mg：減少